

あなたのキャリアを パワーアップ!

福島大学大学院経済学研究科 公開授業・相談会開催

福島大学大学院経済学研究科において、下記のとおり公開授業及び大学院入学、授業の履修に関する相談会を開催いたします。

大学院入学や大学院授業科目の受講をお考えの方・興味をお持ちの方は、この機会に是非、お出かけください。(大学院経済学研究科の概要については裏面をご参照ください。)

日時 **2月9日(木)** 平成24年

[公開授業 / 18:30~19:30]

[相談会 / 19:40~20:40]

場所 **コラッセふくしま 5階特別会議室**
福島市三河南町1番20号 (JR福島駅西口より徒歩3分)

無料

公開授業科目・講師

「会計が変われば経営が変わる」

美馬 武千代 特任教授

授業概要

経済の国際化に伴って日本の会計制度も大きく変わりつつあります。その現象は、国際会計基準へのコンバージェンスと呼ばれます。会計制度の変化は、会計分野に激震をもたらすだけでなく、経営分野にまで多大の影響を与えることになります。例えば、連結会計の普及が終身雇用制度を変える、時価会計の導入が株の持ち合い慣行を見直させる、等々です。このような事例を紹介し、日本的経営の変化の方向について講義します。

お申し込み
方法

メール、FAXまたは電話にて【氏名、連絡先をお知らせください。】

締切：2月8日(水) (会場の関係上、先着30名とさせていただきます。)

メール：keizai@adb.fukushima-u.ac.jp

F A X : 024-548-3182 TEL : 024-548-8353

平成24年度大学院経済学研究科追加募集

募集人員

経済学専攻

10名

経営学専攻

※募集人員は、一般入試、社会人特別入試、修士再履修特別入試の合計数

出願期間等

選 抜	出願期間	選考日	試験科目等
一般入試	平成24年2月20日(月)~ 平成24年2月24日(金)	平成24年3月16日(金)	専門科目、外国語科目、面接
社会人特別入試			面接のための資料作成、面接
修士再履修特別入試			面接

※詳細については、募集要項を下記担当までご連絡いただいで入手のうえ、ご確認ください。
(ホームページでもご覧いただけます。 <http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>)



福島大学大学院経済学研究科概要



本研究科は経済学専攻と経営学専攻の2専攻からなっています。この2つの専攻のなかに、従来の修士論文必修の履修システム(新名称:「修士論文研究モデル」)に加えて、平成22年度から、高度職業人向けの履修システムとして「実務家・特定課題研究モデル」を設定しました。

このモデルの特徴は、修士論文を必修の修了要件とはせず、企業などに務めている社会人がレポート作成や調査などの実践を積み重ね、職業経験・実務経験などと関連した特定課題について研究レポートを作成し審査を経て修了するモデルです。特定分野についての高度な専門知識を深めるとともに、実践的応用力を身につけ関連分野で指導的役割を担う人材の育成を目指しています。

また、修士論文執筆による修了を目指す方には「修士論文研究モデル」という新名称で従来の履修システムが継承されます。このモデルでは修士論文提出・審査合格が必須の修了要件となります。

経済学・経済史コース

このコースは、経済学の理論と実証研究のための手法、そして歴史的視点に基づいた経済的認識を深めるためのコースで、変化の激しい現代経済の諸問題に対して、経済学の理論的な視点から企画・政策立案ができる人材を育成することを目標としています。

国際経済経営コース

このコースは、グローバル化する経済の構造や新動向をマクロ的・総合的に研究しようとする方々、アジア・EU・アメリカなど各国のグローバル経済への対応について研究しようとする方々、さらにグローバル経済のなかで個別企業の戦略や発展方向を研究しようとする方々のニーズに応えるためのコースです。

地域経営経済コース

このコースは、地域企業の動向を踏まえながら地域の振興・地域づくりを研究しようとする方々、また地域の政治と経済の動向を踏まえながら地域において企業経営を発展させる方途を研究する方々、そして企業や自治体、地域社会の現場で働くなか、地域における自らの仕事をさらに充実させ意義あるものにしたいと考えておられる方々のニーズに応えるものです。

経営管理コース

このコースは、経営学関連科目と会計学関連科目を両輪として、企業経営に関する諸問題についての理論的な思考能力と、実践的な経営管理(マネジメント)能力を身につけさせることを目標とします。具体的には高度な問題解決能力をもつビジネスリーダーやマネジャーを養成するとともに、会計スペシャリストの育成をめざします。また、高度な教育能力を持つ高等学校の商業科教員の養成や、現役商業科教員の再教育および中小企業支援機関職員の育成にも対応します。さらに、ビジネスやマネジメントに関する実践的感覚の養成のために、産業界との連携を図り、非常勤講師としての実務家の招聘やフィールド調査などにも力を入れます。

郡山教室の開設について

経済学研究科では、平成20年度より郡山駅前教室にて一部授業を開講しています。これらは、福島県経済の中心地である郡山におけるビジネスパーソンへの、高度に専門的かつ実践的な教育機会へのニーズに応えるものです。担当講師については、経済学研究科スタッフだけではなく、全国各地から優秀な研究者や実務家を招聘して良質なコンテンツを提供します。土曜日または日曜日の開講を基本としており、働きながら学びたい現時点および次世代のビジネスリーダーをターゲットとしています。

平成24年度開講科目(予定)

経営学特別研究(ビジネスデザイン) [川上昌直 兵庫県立大学准教授]

新たなビジネスモデルの創造と、既存モデルの変革について、さまざまな事例をもとにディスカッションします。最終的には受講者自身がビジネスをデザインします。

経営学特別研究(イノベーション論) [三崎秀央 兵庫県立大学教授]

企業が成長・発展するために、そして戦略を策定・実行するためには、イノベーションが必要です。この授業では、イノベーションを生み出すための組織・管理などの問題を事例を交えて講義する予定です。

経営学特別研究(ビジネスアナリシス) [奥本英樹 准教授]

企業に資金を投下する株主や債権者は、様々な情報を用いて企業を評価します。本講義では、投資家が必要とする情報とは何か、また投資家はそれらの情報をどのように用いて意思決定するのかについて、特に財務情報に重点を置きながら解説します。

経営学特別研究(マーケティング) [三菱UFリサーチ&コンサルティング(株)シニアコンサルタント 松下祐造氏] [三菱UFリサーチ&コンサルティング(株)チーフコンサルタント 畦地裕氏]
マーケティング論の基礎となる理論を学ぶとともに、さまざまな事例による学習を行います。

経営学特別研究(実践演習) [美馬武千代 特任教授]

自分の企業を適切に経営管理するためや得意先や仕入先の経営状況を把握するためには財務諸表を正しく読む能力が不可欠です。また、余裕資金の株式投資を行うに当たっても財務諸表に示される経営実態の理解が重要になります。授業では、実際の企業の財務諸表を比較・検討しながら、その読解力を高めることを主眼に置いて講義します。